

令和7年度学校評価（保護者評価及び教職員評価）への改善策について

1 はじめに

お忙しい中、学校評価アンケートに御協力いただき、誠にありがとうございました。  
アンケートを集計したところ、今年度は保護者の皆様からの評価においても、教員による学校評価においても、昨年度より厳しい御意見や課題の指摘が多く見られました。

いただいたアンケート結果と職員による学校評価の内容を真摯に受け止め、改善すべき点を明確にしなが、次のような取組を進めてまいります。

2 学校経営の重点に関わって

① 児童生徒を真ん中に置いた人格・主体性の尊重について

→ 今後とも、全教職員が一丸となって取り組む「児童生徒を真ん中に置いた教育」を推進します。そのためには、児童生徒が主体的に活動できるように教材を工夫するなどの「できる状況づくり」の考えが大切になります。学校研究等で教員の資質向上を図りながら、本人、保護者の思いに寄り添った支援を続けていきます。

② 個別の指導計画の見直し・改善による一人一人に応じた支援について

→ 今後とも、個々の児童生徒理解に努め、より個に応じた支援につながるよう、個別の指導計画の見直しの時期を検討するほか、保護者へより丁寧な説明ができるように、面談での伝達内容等を工夫します。

③ 社会参加と自立に向けたキャリア教育の推進について

→ 自立と社会参加に向け、キャリア教育全体計画に基づき、児童生徒の生活年齢を大切にしたキャリア教育を推進します。また、小・中・高で一貫した支援が行えるようにしていきます。

④ いじめのない安心できる学級経営について

→ 日常の様子から、児童生徒の微細な変化を見逃さずいじめの早期発見に努めるとともに、  
気になる案件は小さなことでも関係職員間で情報共有します。

引き続き、いじめに関するアンケートを年2回実施し、アンケート内容からいじめの早期発見に努めます。

⑤ 児童生徒や保護者、地域、関係機関からの信頼と連携について

→ 児童生徒や保護者の皆様の思いを傾聴し、より良い支援の在り方等について一緒に考えたり、地域、関係機関の皆様と日頃からの情報共有、連携に努めたりします。また、老朽化部分等の教育環境を把握し対策に努めます。

### 3 授業や評価等に関わって

#### a 個々の発達段階や年齢に応じた支援について

→ 今後とも、個々の児童生徒の興味関心や発達段階を丁寧に捉えるほか、児童生徒自身が成長を実感できるような振り返りの場を設定することで、子ども主体の授業づくり、個別最適な学びを意識した指導・支援を行います。また、月1回のホワイトボード相談を継続することを通して、児童生徒への支援等の共通理解を図ります。

#### b 児童生徒のサインや意思表示を大切にした支援について

→ 児童生徒がより直接的に自己表現できる場を構築するほか、言葉やサイン、表情の微細な変化からも児童生徒の意思表示を読み解き、気持ちに寄り添った適切な支援を行います。また、外部専門家派遣事業やエリアカウンセラー派遣事業を有効活用し、教師の専門性を高めます。

#### c 「えがお（個別の指導計画）」の内容、表現について

→ 観点別評価により、どのような資質・能力が育成されたのか、分析的に評価します。また、記載項目の検討や分量も含め、保護者の方により評価内容が伝わるような文章の表現に努めます。

#### d 医療や福祉等の関係機関等との連携について

→ より適切な支援を行えるように、医療、福祉、労働等の各関係機関と適宜ケース会を実施するなど、日頃から密に情報共有したり、連携したりします。

### 4 終わりに

保護者の皆様、このたびは学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。自由記述では、励ましのお言葉や建設的な御意見を多数お寄せいただき、心より感謝申し上げます。いただいた声は教職員全員で共有し、今後の学校づくりにしっかりと生かしてまいります。

保護者の皆様から一層信頼され、安心してお子様をお預けいただける学校を目指し、全職員が力を合わせて改善と充実に取り組んでまいります。

これからも保護者の皆様との連携を大切にしながら、学校運営の向上や児童生徒の自立・社会参加に向けた教育活動をさらに推進していきます。

なお、アンケート結果の数値等の詳細データにつきましては、後日、本校ホームページに掲載いたします。

引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。